

NTT-ATの5つのビジョン。



 **WinActor**[®]

Ver.7.2.1 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

WinActor Ver.7シリーズとは



WinActor Ver.6 シリーズをリメイクした全く新しいWinActorです。Ver.7シリーズでは、最大の特徴である「現場フレンドリー」の思想を一層進化・深化させ、初心者はもちろん上級プログラマにとっても対応可能な、誰もが使いやすいRPAを追求します。

Ver.7.2.1には以下の特徴があります。

- Microsoft 365対応
- Google Workspace対応
- シナリオ雛型作成機能
- WinActor Storyboard UI改善
- 付箋のハイパーリンク対応
- 呼び出し履歴、実行時間のコピー機能
- ツールメニューの整理、マニュアルリンクの追加
- Cloud Libraryの起動メニュー項目の追加



新機能





新機能の表記について


このリリースノートではライセンス、機能毎の違いを説明するために、次の表記を用います。

 この表記がある場合、NL版でご利用できます。

 この表記がある場合、FL版でご利用できます。

 この表記がある場合、フル機能版でご利用できます。

 この表記がある場合、実行版でご利用できます。

 この表記がある場合、管理実行版でご利用できます。

Microsoft 365対応 (1/2)

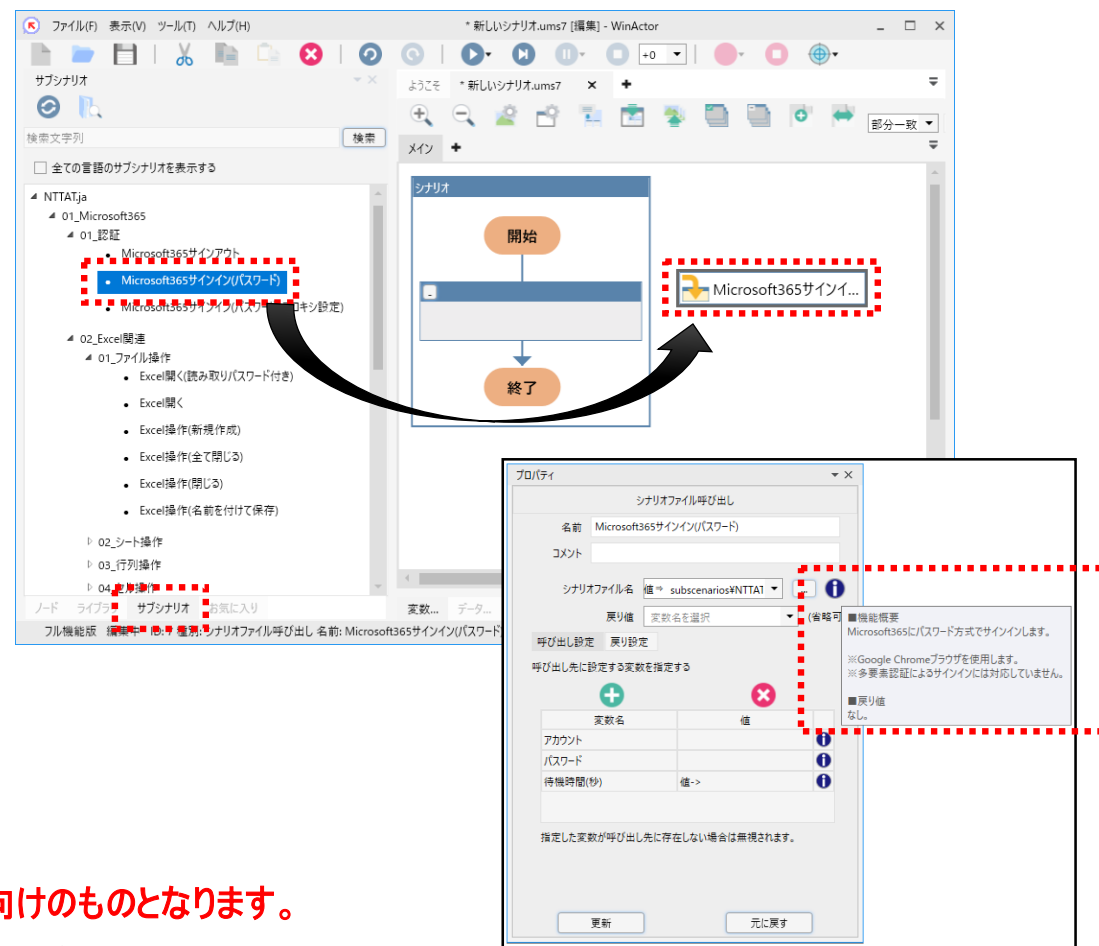


Microsoft 365 Web版のOfficeアプリ(Excel、Word)を
ブラウザで操作する機能を提供します。



新規追加した「サブシナリオ」タブにMicrosoft365 Web版のOfficeアプリを操作するためのパーツを多数取り揃えています。ライブラリと同様にフローチャートにドラッグ&ドロップし、プロパティ画面を設定の上で利用してください。

プロパティ画面のアイコン上にマウスオーバーすると、各サブシナリオの機能概要や戻り値、呼び出し先に設定する変数の説明を参照できます。



※ サブシナリオは日本語環境に対応しています。

WinActorの言語設定を英語にした場合も、表示されるサブシナリオは日本語環境向けのものとなります。

※ 詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)の「3.4.3 サブシナリオパレット」、サブシナリオサンプル説明書(WinActor_Subscenario_sample_Manual)をご参照ください。

Microsoft 365対応 (2/2)



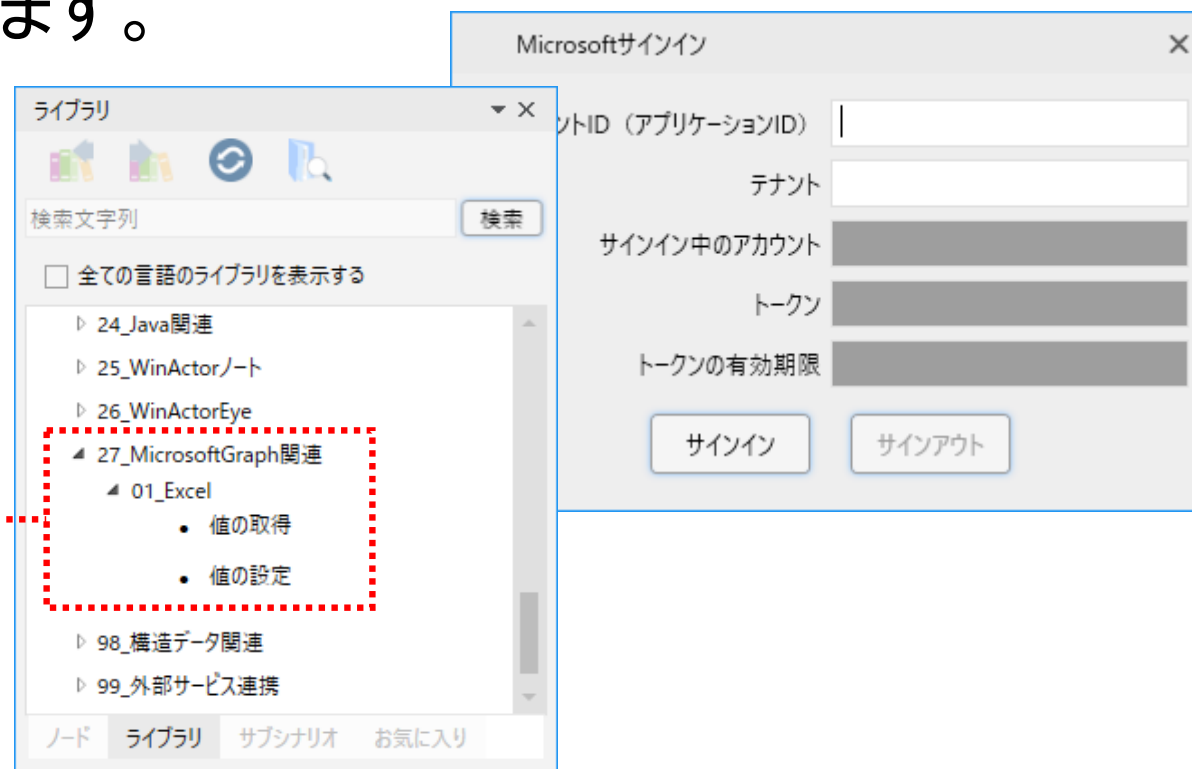
Microsoft Graph APIを利用しOneDrive上のExcelファイル进行操作する機能を提供します。



ブラウザ操作ベースの「サブシナリオ」よりパーツ数は少ないですが、ブラウザのページ読み込み時間等に影響されず安定して動作します。

「ツール」メニューの「Microsoftサインイン」にて事前準備の上で利用してください。

ライブラリタブの「27_MicrosoftGraph関連」のライブラリを利用してください。



※ Microsoftサインインの事前準備方法については同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)の「3.2.3 ツールメニュー ■ Microsoftサインイン画面」をご参照ください。

※ Microsoft Graph APIを利用したライブラリについては同梱のユーザーライブラリ サンプル説明書(WinActor_User_Library_Sample_Manual)の「27 MicrosoftGraph関連」をご参照ください。

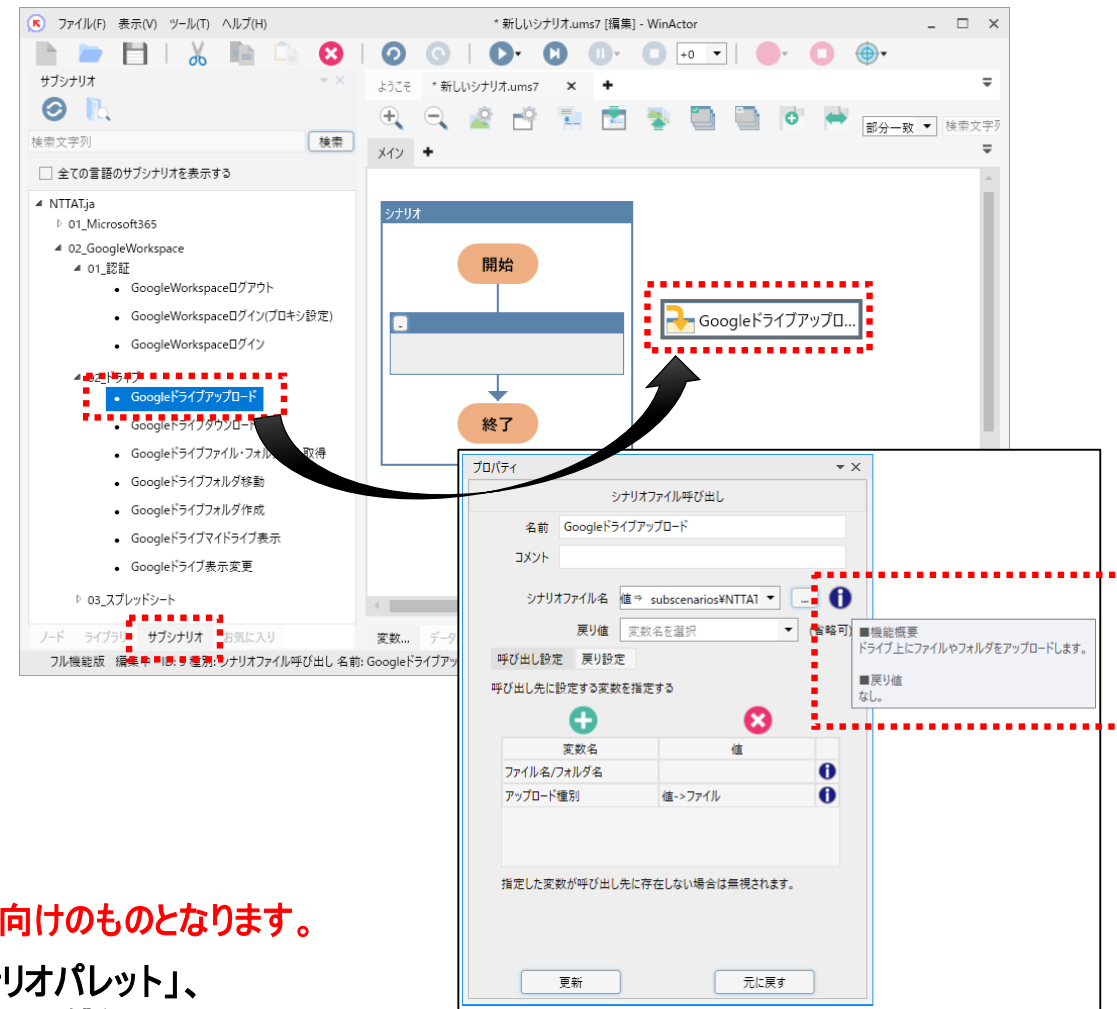
Google Workspace対応 (1/2)



Google Workspaceのアプリ(ドライブ、スプレッドシート)を
ブラウザで操作する機能を提供します。



新規追加した「サブシナリオ」タブにGoogle Workspaceの
アプリを操作するためのパーツを多数取り揃えています。
ライブラリと同様にフローチャートにドラッグ&ドロップし、
プロパティ画面を設定の上で利用してください。



※ サブシナリオは日本語環境に対応しています。
WinActorの言語設定を英語にした場合も、表示されるサブシナリオは日本語環境向けのものとなります。

※ 詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)の「3.4.3 サブシナリオパレット」、
サブシナリオサンプル説明書(WinActor_Subscenario_sample_Manual)をご参照ください。

Google Workspace対応 (2/2)



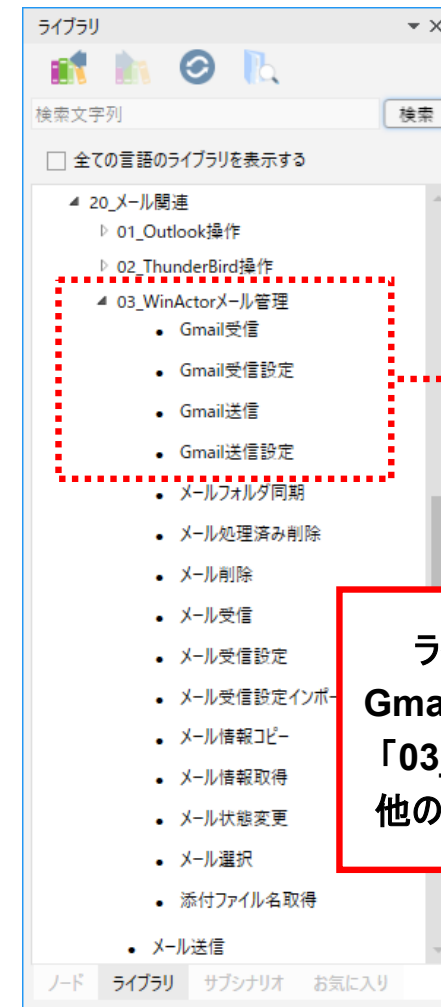
Gmailを利用してメールを送受信する機能を提供します。



機能編集エリアのメール管理タブ、パレットエリアのライブラリタブに新規追加したライブラリから、**既存のメール機能と同様の方法でGmailを利用**できます。

「ツール」メニューの「Googleサインイン」にて事前準備の上で利用してください。

※ Googleサインインの事前準備方法やGmailによるメール送受信手順については同梱のGmail送受信シナリオ作成マニュアル(WinActor_Gmail_Scenario_Manual)をご参照ください。



ライブラリタブの「20_メール関連」にGmail向けのライブラリを追加しています。「03_WinActorメール管理」グループの他のライブラリと合わせてご利用ください。

サブシナリオとAPI利用の使い分けについて



Ver.7.2.1では、Microsoft 365対応とGoogle Workspace対応にて、「サブシナリオ」と「API利用」のそれぞれの方式を提供しています。
利用する際は、状況に応じて以下のように使い分けてください。



	サブシナリオ	API利用
Microsoft 365 対応	<p>(使い方) サブシナリオタブの「01_Microsoft365」から利用したいサブシナリオをフローチャートに配置</p> <p>(利用ケース) ブラウザでMicrosoft 365 Web版を利用していた業務を自動化する場合</p>	<p>(使い方) ツールメニューの[Microsoftサインイン]設定後、ライブラリタブの「27_MicrosoftGraph関連」から利用したいライブラリをフローチャートに配置</p> <p>(利用ケース) OneDrive上のExcelファイルへの値の設定/取得のみ実施する場合、もしくは、既存業務にてMicrosoft GraphAPIを用いたExcelファイル操作を利用していた場合</p>
Google Workspace 対応	<p>(使い方) サブシナリオタブの「02_GoogleWorkspace」から利用したいサブシナリオをフローチャートに配置</p> <p>(利用ケース) ブラウザでGoogle Workspaceのドライブ、スプレッドシートを利用していた業務を自動化する場合</p>	<p>(使い方) ツールメニューの[Googleサインイン]設定後、ライブラリタブの「20_メール関連」から利用したいGmail関係ライブラリをフローチャートに配置</p> <p>(利用ケース) Gmailを利用していた業務を自動化する場合</p>

シナリオ雛型作成機能

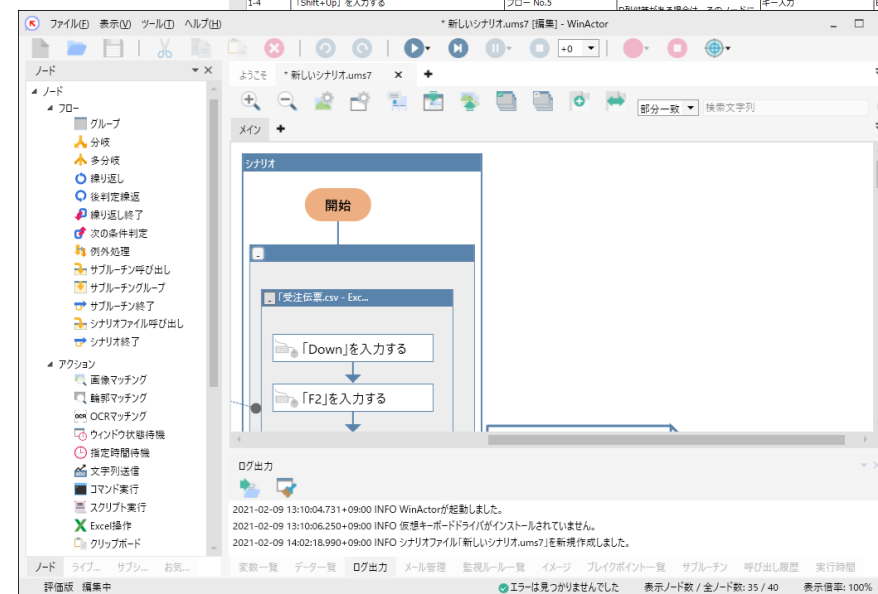


ExcelやCSVで作成したシナリオ雛型ファイルから
WinActorのシナリオを生成する機能を提供します。



シナリオ雛型ファイルでシナリオのおおまかな流れを記述しておくことでシナリオ作成の作業効率を上げることができます。
また、シナリオ雛型ファイルを出力できる
業務分析・可視化ツールと組み合わせることで、
業務のRPA化をさらに推進できます。

No.	ノード名	コメント	イベント種別	アプリケーション	ウィンドウタイトル
1	「受注伝票.csv - Excel」を開く	フロー-No.1	★例外処理 画面に警告が表示されている場合は、キャンセルを押して、処理を中止する。	グループ	
2					
3	1-1 「Down」を入力する	フロー-No.3		キー入力	受注伝票.csv - Excel
4	1-2 「F2」を入力する	フロー-No.4		キー入力	受注伝票.csv - Excel
5	1-3 「Shift+Up」を入力する	フロー-No.5	コメントは、プロパティのコメント欄に記述してください。	キー入力	受注伝票.csv - Excel



「新規作成」メニューからシナリオ雛型ファイルを選択すると、記述内容に基づいてシナリオを自動生成します。

※ 詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)の「1.18 シナリオ雛型作成機能」、シナリオ雛型ファイル(WinActor_Scenario_Template_File)をご参照ください。

WinActor Storyboard UI改善 (1/2)

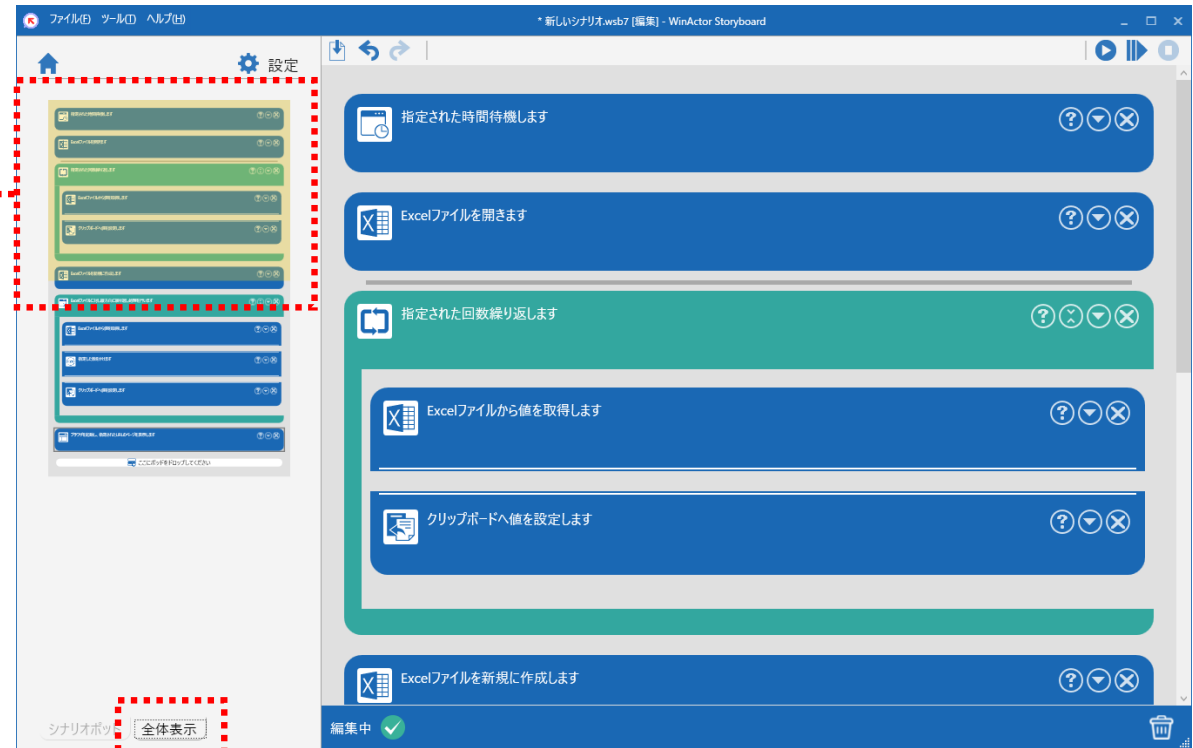


初心者向けエディタ(WinActor Storyboard)において
シナリオ全体表示機能を提供します。



シナリオの全体構造をひと目で把握できるようになり、
よりシナリオを編集しやすくなります。

黄色部分は表示部を表しており、
クリックしたままマウスを移動
すると、画面右側と連動して
表示部を移動できます。



※ 操作方法の詳細はStoryboardの同梱マニュアル『WinActor Storyboard』取扱説明書～基本操作編
(WinActor_Storyboard_Operation_Manual)の「3-2-6 ①」(p.62～p.64)をご参照ください。

〈全体表示〉ボタンをクリックすると、
シナリオ全体を縮小表示します。

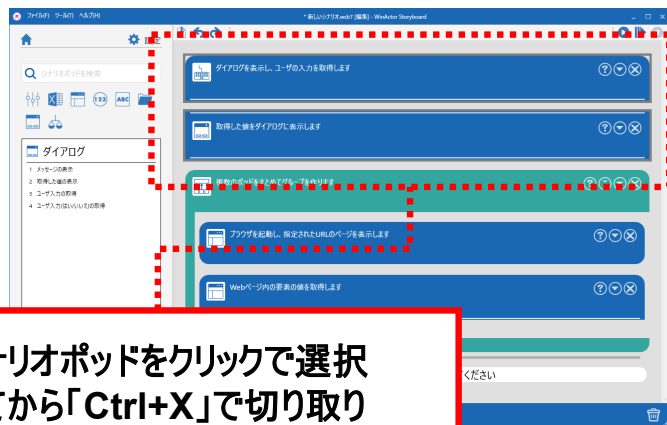


WinActor Storyboard UI改善 (2/2)

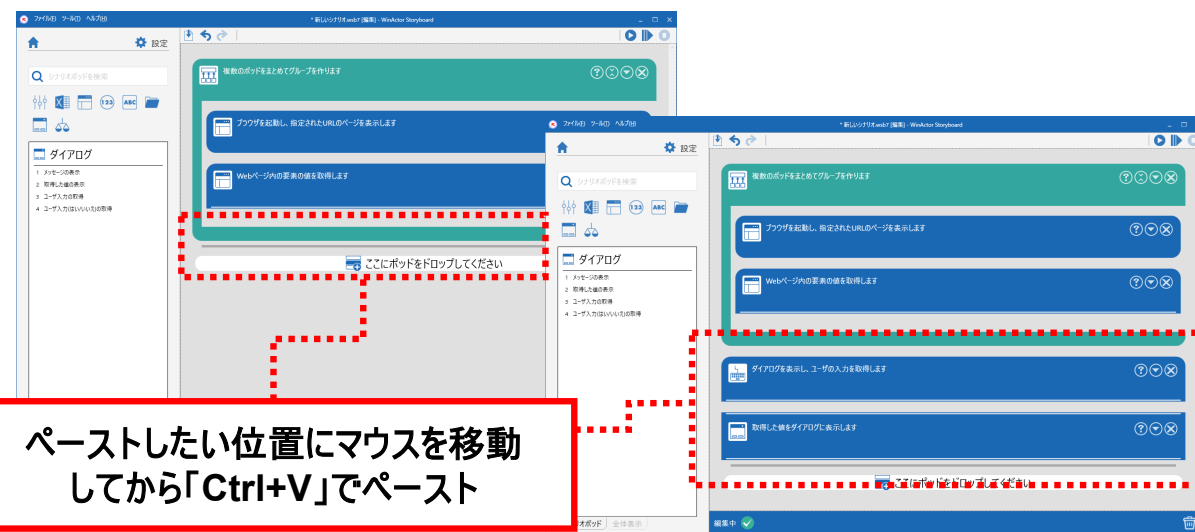
初心者向けエディタ(WinActor Storyboard)において
シナリオ編集の効率を上げるショートカットキーを提供します。



コピー(Ctrl+C)、切り取り(Ctrl+X)、ペースト(Ctrl+V)、削除>Delete)に対応しています。
また、CtrlキーまたはShiftキーを押しながらシナリオポッドをクリックすることで、
複数のシナリオポッドを選択状態にし、まとめてショートカットキーで操作できます。



シナリオポッドをクリックで選択
してから「Ctrl+X」で切り取り
（「Ctrl+C」でコピーも可）



ペーストしたい位置にマウスを移動
してから「Ctrl+V」でペースト

※ 操作方法の詳細はStoryboardの同梱マニュアル『WinActor Storyboard』取扱説明書～基本操作編
(WinActor_Storyboard_Operation_Manual)の「3-2-4 ⑥」(p.45～p.49)をご参照ください。

付箋のハイパーリンク対応

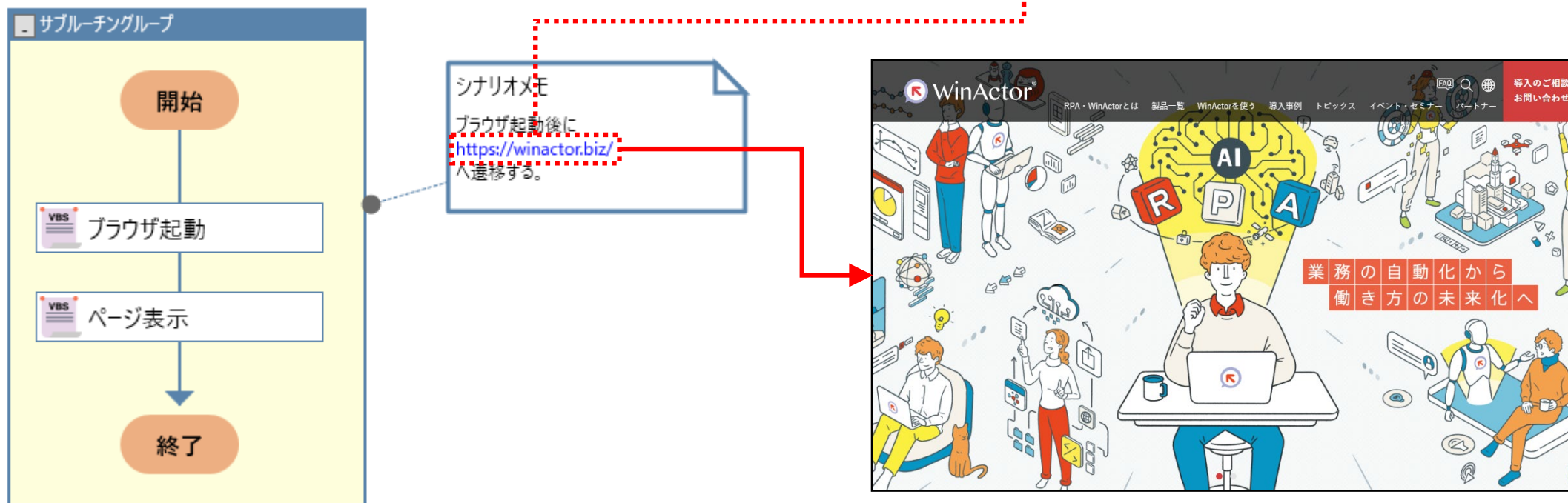


付箋の内容に記載したURLを自動的に判別して
ハイパーリンクとする機能を提供します。



シナリオに関連する外部の情報を参照しやすくなり、
シナリオ作成・保守の効率化を実現できます。

クリックすると自動的にブラウザが起動



※ 付箋ノートについては同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)の「4.11 付箋ノート」をご参照ください。



呼び出し履歴、実行時間のコピー機能

呼び出し履歴タブと実行時間タブに表示されている情報を
クリップボードにコピーする機能を提供します。



呼び出し履歴タブと実行時間タブの中でコピーしたい情報を選択した状態で、

Ctrl+Cを押下することでクリップボードにコピーできます。

コピーした情報はタブ区切りで保存されており、Excelにペーストすることで表形式で閲覧可能です。

実行時間	ノードID	ノード種別	ノード名	実行回数	経過時間	平均時間	経過時間 (子ノード含む)	平均時間 (子ノード含む)
1	メイン			1	0.003	0.003	71.349	71.349
16	繰り返し	繰り返しグループ		1	0.009	0.009	71.346	71.346
15	サブルーチン呼び出し	サブルーチン呼び出し		5	0.007	0.0014	67.361	13.4722
7	サブルーチン	サブルーチングループ		5	0.001	0.0002	67.348	13.4696
12	スクリプト実行	ページ表示		5	57.015	11.403	57.015	11.403
13	スクリプト実行	ブラウザ起動		5	10.332	2.0664	10.332	2.0664
20	スクリプト実行	ブラウザクローズ		5	3.976	0.7952	3.976	0.7952

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	ノードID	ノード種別	ノード名	実行回数	経過時間	平均時間	経過時間 (子ノード含む)	平均時間 (子ノード含む)
2		1	メイン	1	0.003	0.003	71.349	71.349
3		16	繰り返し	1	0.009	0.009	71.346	71.346
4		15	サブルーチン呼び出し	5	0.007	0.0014	67.361	13.4722
5		7	サブルーチン	5	0.001	0.0002	67.348	13.4696
6		12	スクリプト実行	5	57.015	11.403	57.015	11.403
7		13	スクリプト実行	5	10.332	2.0664	10.332	2.0664
8		20	スクリプト実行	5	3.976	0.7952	3.976	0.7952
9								



ツールメニューの整理、マニュアルリンクの追加

Ver.7.2.1ではツールメニューをカテゴリ別に整理しています。



また、ようこそ画面に新規機能向けマニュアルへのリンクを追加しています。



新規機能向けに2冊のマニュアルを追加します。
「サブシナリオサンプル説明書」は
日本語のみ提供します。

ツールメニューをカテゴリ別に整理し、
各ブラウザ向け拡張機能は
サブメニューにまとめています。

「クラウドライブラリ」カテゴリ名を
「Cloud Library」に変更します。



Cloud Libraryの起動メニュー項目の追加

ツールメニューに「Cloud Library」項目を追加します。



メニュー項目を選択することで**WABAgent起動とCloud Library接続を一度に実施**でき、これまでより**容易にCloud Libraryを利用**いただけます。

Cloud Libraryでは、ユーザ登録を行うことにより、**シナリオ作成に便利な1600種類以上のライブラリやシナリオ**を利用できます。





互換性に関する修正（1/2）

Ver.7.2.1では互換性に関する以下の修正を行っています。

これらは WinActor Ver.6 との互換性を向上させるためのものですが、その結果としてWinActor Ver.7.0.1, Ver.7.0.2, Ver.7.1.0, Ver.7.1.1, Ver.7.2.0 と動作が異なってしまいました。そのため Ver.7.0.1, Ver.7.0.2, Ver.7.1.0, Ver.7.1.1, Ver.7.2.0 の**動作にあわせたシナリオが動作しなくなる**場合があります。

- ① 一度実行した監視ルールについて、該当のウィンドウが見つからなくなった後に再度監視するように修正しました。また、該当のウィンドウや監視ルールのアクションを判別しやすくするためログメッセージを見直し、監視ルール一覧タブに「ウィンドウ識別ルール」列の表示を追加しています。

監視ルール一覧

No.	ウィンドウ識別ルール	対処種別	例外名/サブルーチン名
1	名前を付けて保存の確認	シナリオを停止させる	
2	名前を付けて保存の確認	例外を発生させる	例外
3	名前を付けて保存の確認	サブルーチンを実行する	サブルーチングループ

変数一覧 データ一覧 ログ出力 メール管理 監視ルール一覧 イメージ ブレイクポイント一覧 サブ



互換性に関する修正（2/2）

Ver.7.2.1では互換性に関する以下の修正を行っています。

これらは WinActor Ver.6 との互換性を向上させるためのものですが、その結果としてWinActor Ver.7.0.1, Ver.7.0.2, Ver.7.1.0, Ver.7.1.1, Ver.7.2.0 と動作が異なってしまいました。そのため Ver.7.0.1, Ver.7.0.2, Ver.7.1.0, Ver.7.1.1, Ver.7.2.0 の**動作にあわせたシナリオが動作しなくなる**場合があります。

- ② 同梱ライブラリ[25_WinActorノート]-[状態読み取り]の「EMPTY」項目において、WinActorノート側で空行を選択している際には「true」が設定されるよう修正しました。Ver.7.2.0では、WinActorノート側でTOP、または、EOTを選択している場合のみ「true」が設定されるようになっており、空行を選択している場合は「false」が設定されていました。



改善、要望の一覧について

Ver.7.2.1にて行いました改善の一覧(57件)は「WinActor_v721_upgrades_20210322.pdf」に記載します。

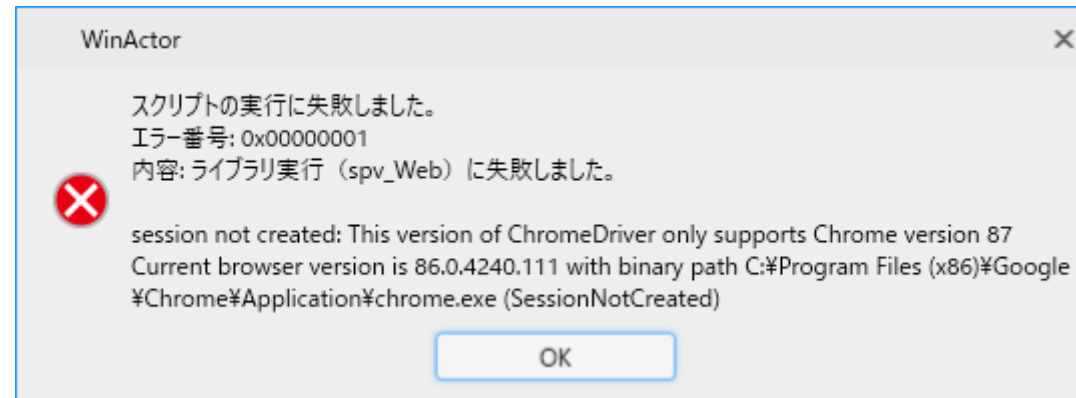
Ver.7.2.1にて対応を行いました要望の一覧(9件)は「WinActor_v721_requests_20210322.pdf」に記載します。

また、上記改善一覧とは別に、WinActor及びWinActor Storyboardで表示するメッセージをより分かりやすくするため見直しています。

Ver.7.2.1に関する想定質問と回答



項番	カテゴリ	質問	回答
1	ライブラリ	Ver.7.2.1にて「23_ブラウザ関連」カテゴリのライブラリを含むシナリオを実行すると、以下のダイアログが表示される。	Ver.7.2.1ではGoogle Chrome、Microsoft Edge(Chromium)、Mozilla Firefoxの操作に利用するWebDriverのバージョンを更新しました。これにより、古いバージョンのブラウザを利用されている環境ではシナリオ実行時にエラーとなることがあります。このエラーが表示された場合は、ご利用のブラウザのバージョンに合わせたドライバを導入いただけますようお願いいたします。 WebDriverの導入手順については、ブラウザ操作シナリオ作成マニュアル(WinActor_Browser_Operation_Scenario_Creation_Manual)の「4. WebDriverの導入手順」をご参照ください。



※ エラーダイアログの中のバージョン情報やファイルパスは環境により異なります。



制約事項

Ver.7.2.1の制約事項（解消時期未定）



以下に関しては順次改善を実施します。

- ① Cloud Libraryの提供は、日本国内に限定されます。



WinActor[®] Ver.7.2.1 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2021 NTT Corp. & NTT Advanced Technology Corp. All Rights Reserved.

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-H-0322

未来を拓くチカラと技術。

